

令和5年9月15日

那須烏山市議会議長 渋井由放 様

総務企画常任委員会委員長 滝口貴史

決算審査結果報告書

本委員会に令和5年9月11日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和5年9月12日（火）及び13日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室
- 3 出席委員 滝口貴史、堀江清一、青木敏久、渋井由放、平塚英教
- 4 説明のための出席者
会計管理者兼会計課長 高田勝、参事兼総合政策課長 菊池義夫、
参事兼まちづくり課長 小原沢一幸、参事兼総務課長 佐藤博樹、
税務課長 川俣謙一、議会事務局長 菊地唯一、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の令和4年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、一部反対意見はあったものの、原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

総合政策課

- ・コロナ禍で始めた学生応援ふるさと便については、市外で生活する本市出身の学生の生活を支援するとともに、Uターンによる地元就職を促進する有用な事業である。アフターコロナにおいても継続し、更なる事業拡充を図られたい。
- ・現在の市庁舎は分庁方式や耐震性、狭あい化など様々な問題を抱えており、市民の安

全を守る防災拠点としての新庁舎建設は喫緊の課題である。市民から親しまれ、訪れたい庁舎となるよう、市民ニーズをくまなく捉える現状調査を行い、今後の整備に活かされたい。

- ・土地利用について、無秩序な開発を厳しく制限するため、県や関係機関との連携を密に対策を講じられたい。

まちづくり課

- ・JR 烏山線の1日平均通過人員は基準を下回り、減少の歯止めがかからない状況にある。開業100周年に向けて醸成した「からせん」愛を一過性のイベントとして終わらせることなく、乗降客の増加につながる積極的かつ具体的な施策の展開を図られたい。
- ・烏山学は、高校生が自身の生活する市に対し自分事として調査研究をする貴重な機会である。生徒がより提案しがいのある事業とするため、提案の報告だけに留まらず政策につながる工夫を図られたい。
- ・ごみの再資源化については、ごみの減量だけでなく、資源の有効利用と温室効果ガス排出削減にもつながることから、リターナブルビンの収集に留まることなく、プラスチックの分別回収についても実現に向けて調査研究に努められたい。

総務課

- ・防犯灯については、適切な維持管理に努めるとともに、現在自治会等で費用負担している電気代は高騰が続くため、近隣自治体の状況も注視しつつ、市の負担も含めて地域の負担軽減策を検討されたい。
- ・年々激甚化、頻発化する災害により、各課が連携し統率の取れた初動対応が求められるため、被災を想定した全庁的な防災訓練の実施について検討されたい。
- ・人事評価制度について、職員の成果及び意欲の向上につながることから、一般職員から信頼される制度となるよう適正な運用を図られたい。

税務課

- ・大口滞納については、令和3年度にコロナ禍で実施できなかった大口滞納法人の不動産公売を実施し、長らく滞っていた事案を解決したことに評価する。今後も公平性を保つため、徹底かつ速やかな滞納処分に努め、徴収率の向上を図られたい。
- ・キャッシュレス決済等の納付方法の拡大については、納付しやすい環境の整備により滞納対策が期待できることから、さらなる研究に努められたい。

会計課

- ・基金の運用について、有利な債権を購入したことは特筆に値する。今後、さらなる運用収益を確保し、市民サービスの財源確保策のひとつとして取り組まれたい。

議会事務局

- ・議会タブレットの導入や議会だよりの刷新について、引き続き効果を検証し業務を改善するとともに、万人に配慮した開かれた議会の推進に努められたい。